

## 平成21年度豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価

豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価（以下「点検・評価」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条の規定に基づき実施するものです。

### （参 考）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（関係条文抜粋）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

点検・評価は、前年度の事業を対象とします。

上記に関連する事業は、事務事業一覧表のとおりです。

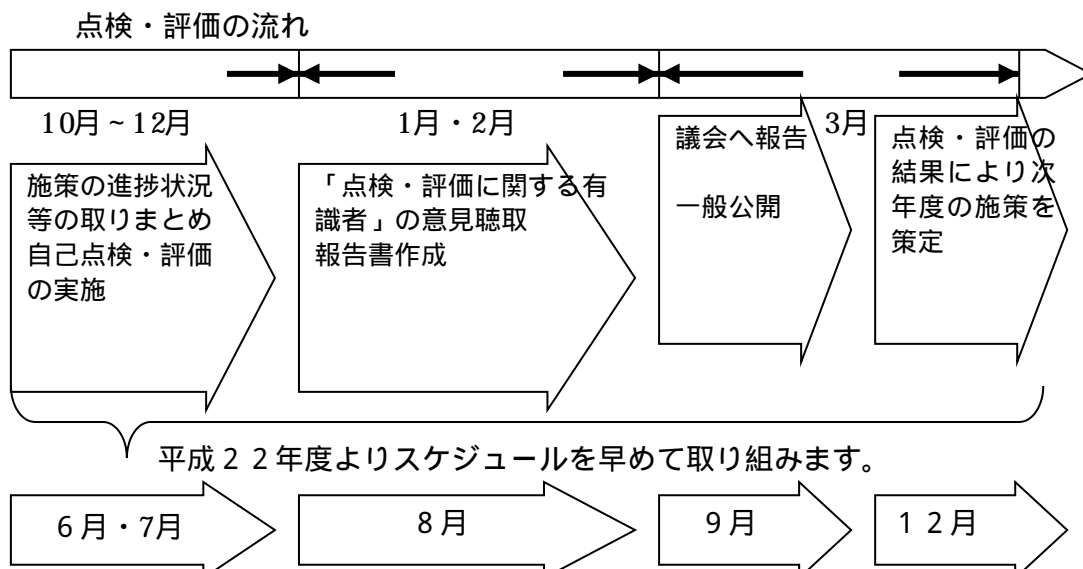
点検・評価は、事業それぞれについて、点検・評価シートを作成します。

教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」を1名置きます。

「点検・評価に関する有識者」は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱します。

「点検・評価に関する有識者」の任期は1年とします。

点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を豊前市議会（文教厚生委員会）に報告するとともに一般に公開します。



教育委員会の事務の管理及び執行状況の

点検・評価報告書

(平成20年度分)

平成22年2月

豊前市教育委員会

豊前市教育委員会点検・評価事務事業一覧

大区分	中区分	小区分	事務事業	—
教育の	就学前教育	1 楽しく充実した幼児教育	1 幼稚園就園奨励費補助事業	1
	学校教育	2 楽しく充実した学校	2 学校規模の適正化	2
			3 完全学校週5日制の対応	3
			4 指導者の育成	3
			5 効率化・安全性を考慮した学校	4
			6 社会教育主事の活用と育成	5
	社会教育	3 推進体制の強化	6 社会教育主事の活用と育成	5
		4 青少年教育の取り組み	7 体験学習の推進	6
			8 学社融合の推進	6
			9 地域との連携	7
		5 社会人への支援	10 学習機会の提供	8
			11 各種団体への支援	8
		6 公民館運営の見直し	12 地域情報発信事業	9
	13 施設の機能強化		9	
	スポーツ・レクリエーション	7 地域スポーツの振興	14 地域総合型スポーツクラブの立	10
		8 レクリエーションスポーツの	15 指導者の育成	11
9 施設の整備		16 公園型運動公園の整備	12	
文化の	文化財の保護と活用	10 文化財の整備と活用	17 史跡「求菩提山」の整備	13
			18 史跡「黒部古墳」の整備	13
			19 教育普及活動の推進	14
		11 文化財の公開	20 施設の整備	15
			21 各種情報の発信	15
	12 無形民俗文化財の伝承	22 関係団体の組織化	16	
		23 伝承事業の展開	16	
		24 ガイドボランティアの支援	17	
	芸術文化の振興	14 芸術活動の支援	25 複合施設の建設	18
			26 支援体制の充実	18
			27 文化事業の実施、場の提供	19
		15 読書活動の推進	28 図書館の整備、充実	20
	29 学校図書館との連携		20	
	30 読書ボランティア活動の支援		21	
	16 生涯学習体制の確立	31 庁内での意識の構築	22	

生涯学習	17	情報の一元化	32	データベースの提供	23
	18	出前講座の実施	33	市役所職員による実践	24
			34	ボランティアの活用	24

## 1 楽しく充実した幼児教育

私立幼稚園の幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児、5歳児の保護者に対し入園料・保育料の減額措置を行いました。この幼稚園就園奨励費については文部科学省の国庫補助金があり市の負担が軽減されています。

対象となった幼稚園は、豊前幼稚園・めぐみ幼稚園（築上町）・きらきら星幼稚園（行橋市）の3園です。

対象者への補助限度額が年々引き上げられていること、減額措置の基準（市町村民税の所得割課税額）の上限が引き上げられたこと、優遇措置の対象とする条件緩和が図られていること等により、充実した内容になっており今後も継続して事業を進めてまいります。

### 【点検・評価シート 就学前教育】

		小区分	1	事務事業	1
施策名	楽しく充実した幼児教育				
事業名	幼稚園就園奨励費補助事業	担当係	教育総務係		
事業の目的	幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し所得状況に応じて入園料・保育料の減額措置を行う。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一世帯から複数園児が同時に就園している場合</li> <li>・同一世帯に小学校1年から3年生の兄・姉を有する園児</li> </ul>				
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊前幼稚園 67人 補助金 5,130,200円</li> <li>・めぐみ幼稚園 3人 補助金 271,200円</li> <li>・きらきら星幼稚園 1人 補助金 59,200円</li> <li>・国庫補助金 1,454,000円</li> </ul>				
平成20年度 決算額(千円)	5,461				
事業の課題	園児の人数が減少している。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

## 2 楽しく充実した学校

児童・生徒数の減少が著しく小中学校間に格差が生じないように、通学区域の見直し及び適正な規模の学校として運営できるよう統廃合を推進します。

学校週5日制に対応するため、学校と家庭・地域が一体となって教育活動の創造に取り組みます。

コンピューター施設を整備し、コンピューター教育に取り組み、外国語指導助手等による英語授業・学校教育指導支援補助員の採用などにより指導体制の強化に努めています。

自校方式・給食センター方式及び民間委託方式など、関係機関と協議しながら最善な方法で対応します。

### 【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	2	事務事業	2
施策名	楽しく充実した学校				
事業名	学校規模の適正化	担当係	教育総務係		
事業の目的	多様化する学校教育、将来の児童・生徒数、教育効果を考え、通学区域の見直し、及び適正な規模の学校として運営できるようにする。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の統廃合を推進する。</li> <li>・加配教員の配置等により小規模校の活性化を図る。</li> </ul>				
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校については、市立学校通学区域審議会から「平成17年11月に4中学校を統合し、旧築上中部高校跡地に統合中学校を新設する」との答申が出されているが、今のところ統合に向けての作業は進んでいない。</li> <li>・学校間での児童・生徒数による格差を解消するため、小規模校へ非常勤講師を配置している。</li> </ul>				
平成20年度 決算額(千円)	・ 4 , 6 1 5				
事業の課題	学校施設の老朽化に伴う修理・修繕費用の増大。 児童・生徒数の減少による学校間の格差。				
評価	C	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

【点検・評価シート 学校教育】

	小区分	2	事務事業	3
施策名	楽しく充実した学校			
事業名	完全学校週5日制の対応	担当係	学校教育係	
事業の目的	「ゆとり」を増やし、生活体験・社会体験・自然体験など様々な活動を行い、自ら学び考える力や豊かな人間性、健康、体力などの「生きる力」を育み、自らの新しい価値を見出していくこと。			
事業内容	学校と家庭・地域が一体となって、体験を通し教育活動の創造に取り組む。			
達成状況	地域の協力を得て目的を達成			
平成20年度 決算額(千円)	0			
事業の課題	学力の低下を防ぐ。			
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る D期待以下

【点検・評価シート 学校教育】

	小区分	2	事務事業	4
施策名	楽しく充実した学校			
事業名	指導者の育成	担当係	教育総務係	
事業の目的	多様化する学校教育について、子どもの「生きる力」を育み楽しく充実した教育を推進する。個性や価値観を尊重し互いを認め合う心や社会の変化に的確にかつ柔軟に対応できる力など、人間性豊かでたくましい子どもたちを育成する学校教育内容を充実させる。			
事業内容	・ 障害のある児童・生徒の適切な就学、コンピューター教育、英語教育について、支援を行う補助員の配置などを整備する。			
達成状況	・ 障害のある児童・生徒には学校生活支援員を配置し、学校生活に支障がないよう配慮している。 ・ コンピューター教育は、各小中学校のパソコン教室にパソコンを配置している。 ・ 英語教育は、小学校には2名の非常勤講師、中学校には1名の外国語指導助手を配置している。			
平成20年度 決算額(千円)	・ 小学校 8,621 (講師等) 13,582 (パソコンリース) ・ 中学校 4,965 (講師等) 9,224 (パソコンリース)			
事業の課題	人材確保			
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る D期待以下

【点検・評価シート 学校教育】

	小区分	2	事務事業	5
施策名	楽しく充実した学校			
事業名	効率化・安全性を考慮した学校給食	担当係	学校教育係	
事業の目的	おいしく栄養面を考慮した献立。			
事業内容	地産地消に向け努力する。			
達成状況	地元産米の完全使用。 地場産食材活用推進協議会を年3回設け意見・情報交換を行っている。 米飯の日数を増やすアンケート調査・PTA説明等を行い21年度から米飯週4日実施を決定。			
平成20年度 決算額(千円)	・小学校 116,575 ・中学校 39,677			
事業の課題	物価の高騰に向けての対応。			
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る D期待以下



### 3 推進体制の強化

社会教育体制の確立は、長期的視野に立った取り組みが必要であることから、社会教育主事の育成を推進します。

#### 【点検・評価シート 社会教育】

	小区分	3	事務事業	6
施策名	推進体制の強化			
事業名	社会教育主事の活用と育成	担当係	社会教育係	
事業の目的	社会教育事業推進のため専門知識を有する人材を育成しその推進に努める。			
事業内容	文部科学省が実施する社会教育主事講習の受講。			
達成状況	担当職員の業務繁忙につき未実施。			
平成20年度 決算額(千円)	0			
事業の課題	早期の実施を目指したい。			
評価	D	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る D期待以下

#### 4 青少年教育の取り組み

体験学習事業、子どもセンターの開設、子ども会育成活動への支援を行っています。

##### 【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	4	事務事業	7
施策名	青少年教育の取り組み				
事業名	体験学習の推進	担当係	社会教育係		
事業の目的	体験活動を通して子ども達の生きる力を育む。				
事業内容	通学合宿の事業推進を行ない、体験活動を通して生活習慣を身に付けることを目的とする。				
達成状況	現在5地区で実施中。また、H20よりアンビシャス広場等連携事業（県費補助事業）を実施し、野外体験活動（野外調理）を年2回実施した。				
平成20年度 決算額(千円)	700千円（県費助成事業）				
事業の課題					
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

##### 【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	4	事務事業	8
施策名	青少年教育の取り組み				
事業名	学社融合の推進	担当係	社会教育係		
事業の目的	学校教育と社会教育の融合により、子ども達への質の高い学習を提供する。				
事業内容	総合的な学習の時間や地域の人材を生かした内容について、はつらつ活動拠点事業による学校での出前授業を実施。				
達成状況	千束小学校での草鞋作りや市内8校で書道ボランティアの派遣を実施。				
平成20年度 決算額(千円)	1,467千円（県費助成事業）				
事業の課題	学校へのボランティア派遣は、受け入れ側とボランティアの意思疎通が大切で、受け入れ側の理解が必須条件となる。 また、派遣する側もボランティアの指導を十分に行う必要がある。				
評価	C	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

【点検・評価シート 社会教育】

	小区分	4	事務事業	9
施策名	青少年教育の取り組み			
事業名	地域との連携	担当係	社会教育係	
事業の目的	家庭教育の向上、地域教育力の活用を目指す。			
事業内容	家庭教育推進協議会を設置し、学校との連携で家庭教育講座を実施。			
達成状況	市内10校で実施。			
平成20年度 決算額(千円)	0			
事業の課題	事業を継続するために学習プログラムの構築が望まれる。また、平成21年度は親子教室の実施を予定。			
評価	C	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る D期待以下

## 5 社会人への支援

働く婦人の家、青少年ホームでの勤労者学習支援事業、高齢者大学による学習支援などを行っています。

### 【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	5	事務事業	10
施策名	社会人への支援				
事業名	学習機会の提供	担当係	社会教育係		
事業の目的	市民ニーズに合わせた社会人への学習機会の提供。				
事業内容	働く婦人の家、青少年ホームなどでの講座の実施。				
達成状況	働く婦人の家で15講座、青少年ホームで11講座を実施。H20からは新規教室の実施に取り組み成果を上げつつある。この他特別講座なども実施。				
平成20年度決算額(千円)	4,088千円				
事業の課題	無料講座による弊害（マンネリ化）が見られることから、H21からは有料とする予定。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

### 【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	5	事務事業	11
施策名	社会人への支援				
事業名	各種団体への支援	担当係	社会教育係		
事業の目的	社会教育団体との連携を通じて社会教育事業の推進を計る。				
事業内容	子ども会連合会、JLクラブ、青少年育成市民会議、PTA連合会、青年団、スポーツ少年団、体育協会、文化協会、ボーイスカウト育成会など社会教育団体への支援。				
達成状況	各団体で独自に事業を実施。				
平成20年度決算額(千円)	7,070千円				
事業の課題	事業内容のマンネリ化による活動の停滞を活性化させる必要がある。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

## 6 公民館運営の見直し

異世代間交流の促進や地域コミュニティー、情報発信基地としての見直しを行い幅広い業務の展開を目指し、施設の機能強化を図ります。

### 【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	6	事務事業	12
施策名	公民館運営の見直し				
事業名	地域情報発信事業	担当係	社会教育係		
事業の目的	情報発信基地としての機能強化				
事業内容	ダイレクトな地域情報の発信拠点として、公民館施設を活用する。				
達成状況	H21から二カ年で「豊前市生涯学習推進基本計画」の策定を行い、その中で公民館の活性化について盛り込む予定。				
平成20年度 決算額(千円)	0				
事業の課題	公民館ごとの対応に格差があることから、均質的なサービスの向上が必要。				
評価	D	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

### 【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	6	事務事業	13
施策名	公民館運営の見直し				
事業名	施設の機能強化	担当係	社会教育係		
事業の目的	地域の拠点施設としてコミュニティーを含めた施設運営を図る。				
事業内容	公民館を地域の活動拠点として活性化するため、社会教育施設としてだけでなく福祉、子育て、防災などに対応できるシステムを構築する。				
達成状況	H21から「豊前市生涯学習推進基本計画」(H22策定予定)の策定を行い、その中で具体的な計画を検討する。				
平成20年度 決算額(千円)	0				
事業の課題					
評価	D	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

7 地域スポーツの振興

スポーツ人口の底辺拡大、競技スポーツにおける一貫した指導体制の確立などを目指します。

【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

		小区分	7	事務事業	14
施策名	地域スポーツの振興				
事業名	地域総合型スポーツクラブの立上げ	担当係	社会教育係		
事業の目的	地域でのスポーツ活動の推進を行う。				
事業内容	地域総合型スポーツクラブとして「ぶぜんピープルズ」を立ち上げ活動を行う。				
達成状況	現在主宰教室は18箇所、会員数約250名。				
平成20年度 決算額(千円)	1,860千円（全額totoからの助成金）				
事業の課題	H22より自主運営の予定。さらなる教室の充実が求められる。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

## 8 レクリエーションスポーツの普及

体育指導員など指導者の育成と組織化を進めていきます。

### 【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

	小区分	8	事務事業	15
施策名	レクリエーションスポーツの普及			
事業名	指導者の育成		担当係	社会教育係
事業の目的	高齢化社会に対応するため、生涯スポーツの普及を通して地域住民の健康増進を図る。			
事業内容	体育指導員など指導者の育成、総合型地域スポーツクラブ「ぶぜんピープルズ」の事業実施に伴う指導者の開拓などを行う。			
達成状況	具体的な取り組みがなされていない。			
平成20年度 決算額(千円)	0			
事業の課題	指導者の固定化により新たな人材の発掘が難しくなっているため、20代～30代の人材の発掘が必要。			
評価	C	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る D期待以下

9 施設の整備

公園型スポーツ広場などの整備を目指します。

【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

	小区分	9	事務事業	16
施策名	施設の整備			
事業名	公園型運動公園の整備	担当係	社会教育係	
事業の目的	高齢化社会の健康づくり、未就学児の野外活動の場として広場を整備する。			
事業内容	旧築上北高校跡地整備に伴い、芝生広場などの整備を計画。			
達成状況	現状では達成困難となっている。			
平成20年度 決算額(千円)	0			
事業の課題	跡地の利用計画が文化ゾーン以外で具体的な計画が無く、今後の計画策定の課題となっている。			
評価	D	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る D期待以下



## 10 文化財の整備と活用

文化財を活用した教育普及活動は最も重要な施策で、求菩提資料館や各種講演会、学校への出前歴史授業、出版物での紹介などを行っています。

### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	10	事務事業	17
施策名	文化財の整備と活用				
事業名	史跡「求菩提山」の整備	担当係	文化芸術係		
事業の目的	史跡の活用を行うため、解説板の設置や現地の整備を行い見学者の利便性を図る。				
事業内容	如法寺地区管理用道路整備工事（一年次）、求菩提地区サイン整備				
達成状況	20年度は如法寺地区管理用道路の史跡指定地範囲内約1/2の整備。求菩提地区サイン整備は案内板・説明板・道標を新たに設置または老朽化した既存サインの建て替え・板面張り替え。				
平成20年度決算額(千円)	24,340				
事業の課題	今後10年程度の事業期間を要するため、専任の担当者が必要				
評価	A	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	10	事務事業	18
施策名	文化財の整備と活用				
事業名	史跡「黒部古墳」の整備	担当係	文化芸術係		
事業の目的	県指定史跡の活用				
事業内容	線刻画の公開を行うため、見学施設を整備する				
達成状況	着手できず				
平成20年度決算額(千円)	0				
事業の課題	県の補助事業として実施するため、具体的な調整が必要				
評価	D	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	10	事務事業	19
施策名	文化財の整備と活用				
事業名	教育普及活動の推進	担当係	文化芸術係		
事業の目的	文化財を一般に公開することにより地域の歴史に対する理解を深め、ひいては文化財愛護精神の高揚並びに、地域文化の再認識につなげる				
事業内容	求菩提資料館の常設展での修験道文化の紹介、出前歴史教室の実施により埋蔵文化財を通じて地域の歴史の理解を促す。				
達成状況	単年度としては概ね達成している。				
平成20年度 決算額(千円)	求菩提の常設展は資料館管理費に含まれるため区別が難しい。出前歴史講座は職員が講師を務めるため経費は生じない。				
事業の課題	民俗資料の展示施設が必要。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

## 11 文化財の公開

市内中心部に展示施設を併設した施設を整備し、さまざまな情報の提供を行います。

### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	11	事務事業	20
施策名	文化財の公開				
事業名	施設の整備	担当係	文化芸術係		
事業の目的	調査収集した文化財資料の公開をすることで、市民に対し地域の歴史に対する理解を促し、ひいては地域の再評価と地域コミュニティー構築の一助とする。				
事業内容	旧築上北高校跡地の既存校舎を利用し埋蔵文化財センターを整備				
達成状況	当初は実施設計を行う予定であったが、繰越を行い他2施設と併せて基本設計を実施。個別の実施設計と工事を21年度に行う予定。				
平成20年度 決算額(千円)	文化施設3棟分の基本設計委託(決算額9,765)				
事業の課題					
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	11	事務事業	21
施策名	文化財の公開				
事業名	各種情報の発信	担当係	文化芸術係		
事業の目的	豊前市内の文化財の様々な情報をインターネットや冊子資料を通して外部へ発信することで、全国に豊前市をPRする。また、豊前市のイメージ作りと、観光客への情報提供の手段とする。				
事業内容	公式ホームページを活用し民俗芸能情報や指定文化財の紹介をインターネットで配信する。				
達成状況	公式ホームページに当年度の神楽奉納日程情報などの民俗芸能情報や指定文化財の紹介を掲載する。				
平成20年度 決算額(千円)	特に予算化はしていない。				
事業の課題	神楽の奉納日程・奉納場所アクセス情報などダイレクトでより詳細な内容が求められている。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

## 12 無形民俗文化財の伝承

新たな体制整備を行い、支援体制の確立を目指します。

### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	12	事務事業	22
施策名	無形民俗文化財の伝承				
事業名	関係団体の組織化	担当係	文化芸術係		
事業の目的	伝承団体相互の連携を強めることで、伝統芸能伝承の一助とする。				
事業内容	豊前岩戸神楽保存会の運営。				
達成状況	例会において各神楽講で情報交換し、民俗芸能調査の依頼や京築アメニティ関連イベントなどの出演依頼に関する業務を円滑に行う。				
平成20年度 決算額(千円)	特に予算化はしていない。				
事業の課題	神楽以外の民俗芸能についても組織化を進める必要がある。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	12	事務事業	23
施策名	無形民俗文化財の伝承				
事業名	伝承事業の展開	担当係	文化芸術係		
事業の目的	伝統芸能の伝承を通じて地域コミュニティの構築に寄与し、地域の伝統文化の継承の一助とする。				
事業内容	様々な助成事業などを通じ伝承事業の支援を行う。具体的には事前に保存団体の状況を把握し、市の助成金制度や他団体の制度を紹介しながら、必要な支援を行う。				
達成状況	伝統芸能団体の広報関連業務や装束・道具類の作成・修理などを助成対象とする。20年度は大富神社神幸祭の広報用ポスター作成に対する助成を行った。				
平成20年度 決算額(千円)	100				
事業の課題	事業の継続				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

### 13 人材の育成

ガイドボランティアについて更なる充実を求め、外部からの来訪者に対して均質的なサービスの提供を目指します。

#### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	13	事務事業	24
施策名	人材の育成				
事業名	ガイドボランティアの支援	担当係	文化芸術係		
事業の目的	官民協働を推進し、地域の人材を活用して活性化を図る。				
事業内容	求菩提資料館を拠点として、史跡を紹介するガイドボランティアの支援。				
達成状況	一般見学者向けや学校の校外学習等での史跡ガイド要請への対応の他、求菩提資料館の年2回の企画展時の展示替えに参加。				
平成20年度 決算額(千円)	特に予算化はしていない。				
事業の課題	メンバーの高齢化が進んでいるため、新たな人材の確保と育成が急務。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

#### 14 芸術活動の支援

文化施設の整備、活動環境の整備を行い文化活動の推進を図り、参加による体験を通じた芸術文化の振興を行います。

##### 【点検・評価シート 芸術文化の振興】

		小区分	14	事務事業	25
施策名	芸術活動の支援				
事業名	複合施設の建設	担当係	文化芸術係		
事業の目的	老朽化した市民会館の改善を行い、市民に上質な文化芸術のサービス提供を行い、心豊かな市民生活形成の一助とする。				
事業内容	旧築上北高校跡地の既存校舎を改修し、芸術文化センター（仮称）の整備を行い、文化活動の拠点とする。				
達成状況	当初は実施設計を行う予定であったが、繰越を行い他2施設と併せて基本設計を実施。個別の実施設計と工事を21年度以降に行う予定。				
平成20年度 決算額(千円)	文化施設3棟分の基本設計委託（決算額9,765）				
事業の課題					
評価	C	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

##### 【点検・評価シート 芸術文化の振興】

		小区分	14	事務事業	26
施策名	芸術活動の支援				
事業名	支援体制の充実	担当係	文化芸術係		
事業の目的	文化溢れる市民生活の実現に向け、住民が自ら行う文化事業に対して人的、財政的な支援を行う。				
事業内容	文化事業の実施にかかるノウハウの提供を行う。				
達成状況	現在、助成は行っていない。				
平成20年度 決算額(千円)	0				
事業の課題	財政的な支援について予算化が必要。				
評価	D	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

【点検・評価シート 芸術文化の振興】

		小区分	14	事務事業	27
施策名	芸術活動の支援				
事業名	文化事業の実施、場の提供	担当係	文化芸術係		
事業の目的	芸術文化の振興を通じて、豊かな市民生活形成の一助とする。				
事業内容	自主文化事業、子ども文化事業の実施、県民文化祭への参加、豊前市文化協会の支援、豊前市美術展の開催、文化体験プログラムの実施など。				
達成状況	自主文化事業（講演・コンサート・映画上映会）の実施、ふぜん子どもミュージカル公演、県民文化祭（能楽公演）、豊前市文化協会の支援、第6回豊前市美術展の開催、文化体験プログラム（ヴァイオリン・能楽体験、漆工芸）の実施。				
平成20年度 決算額(千円)	8,130（内、実行委員会などに対する補助3,900を含む）				
事業の課題	活動拠点である市民会館の大規模改修と、市民会館を指定管理者とし行政組織から切り離した上で専任の担当者を配置するなど、事業実施体制の整備が必要。				
評価	C	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

## 15 読書活動の推進

図書館の充実、学校図書館の支援、ボランティア活動の支援をしていきます。

### 【点検・評価シート 芸術文化の振興】

		小区分	15	事務事業	28
施策名	読書活動の推進				
事業名	図書館の整備、充実	担当係	文化芸術係		
事業の目的	新図書館を設置し、より一層の図書館サービスの充実を図る。				
事業内容	旧築上北高校跡地の既存校舎を改修し、図書館の整備を行う。				
達成状況	繰越を行い他2施設と併せて基本設計を実施。図書館棟の実施設計。工事は21年度以降に行う予定。				
平成20年度 決算額(千円)	文化施設3棟分の基本設計委託(決算額9,765) 図書館棟実施設計(決算額4,005)				
事業の課題					
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

### 【点検・評価シート 芸術文化の振興】

		小区分	15	事務事業	29
施策名	読書活動の推進				
事業名	学校図書館との連携	担当係	文化芸術係		
事業の目的	学校と公共図書館を連携することで読書推進に寄与し資料の共有活用に努める。				
事業内容	団体貸出の推進。学校教育活動に対する資料提供、協力。				
達成状況	市立図書館の指定管理者制導入後、団体貸出のみ継続。その他の活動推進は係で担当。				
平成20年度 決算額(千円)	平成20年度より図書館業務は指定管理者を導入(委託25,000)。活動推進については特に予算化していない。				
事業の課題	平成20年度より指定管理者制の導入でサービス維持が課題。				
評価	C	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下



【点検・評価シート 芸術文化の振興】

		小区分	15	事務事業	30
施策名	読書活動の推進				
事業名	読書ボランティア活動の支援	担当係	文化芸術係		
事業の目的	市民との協働による読書推進活動を展開する。				
事業内容	ボランティアグループの連絡会「ブックラブ」の運営。具体的には資料提供、講座の実施、機会の提供を行う。				
達成状況	市立図書館の指定管理者制導入後、資料提供のみ図書館費の中で実施。ブックラブは活動休止状態。その他の活動推進は係で担当。				
平成20年度 決算額(千円)	平成20年度より図書館業務は指定管理者を導入（委託25,000）。活動推進については特に予算化していない。				
事業の課題	平成20年度より指定管理者の導入でサービス維持が課題。				
評価	C	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

16 生涯学習体制の確立

職員に対し意識の徹底を図り、市民への情報提供を行います。

【点検・評価シート 生涯学習】

	小区分	16	事務事業	31
施策名	生涯学習体制の確立			
事業名	庁内での意識の構築	担当係	社会教育係	
事業の目的	生涯学習の考え方について、全職員を対象として意識の共有を図る。			
事業内容	生涯学習基本計画の策定を行い、その過程で生涯学習に対する職員の全庁的な意思形成を行う必要がある。			
達成状況	平成21、22年度で計画の策定を行う。			
平成20年度 決算額(千円)	0			
事業の課題				
評価	D	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る D期待以下

## 17 情報の一元化

情報を一元化し、生涯学習センターなどと連携して活動の場、交流の場を確保します。

### 【点検・評価シート 生涯学習】

		小区分	17	事務事業	32
施策名	情報の一元化				
事業名	データベースの提供	担当係	社会教育係		
事業の目的	生涯学習の推進を図る上で、行政内の施策などの情報を一元化。				
事業内容	生涯学習基本計画の策定の過程で、各課からの情報提供を受けそのデータベース化を図る。				
達成状況	未実施。				
平成20年度 決算額(千円)	0				
事業の課題	H21に実施予定。				
評価	D	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

## 18 出前講座の実施

市役所職員による実施を可能とするため、十分な職員研修が必要であり、職員の資質の向上が必要です。

### 【点検・評価シート 生涯学習】

		小区分	18	事務事業	33
施策名	出前講座の実施				
事業名	市役所職員による実践	担当課	社会教育係		
事業の目的	行政施策、行政情報を学習プログラムとして構築。				
事業内容	行政サービスの内容を学習メニューとして構築し、公民館などで必要に応じて学習会で提供する。				
達成状況	未実施。				
平成20年度 決算額(千円)	0				
事業の課題	生涯学習基本計画の策定において具体的内容を検討。				
評価	D	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

### 【点検・評価シート 生涯学習】

		小区分	18	事務事業	34
施策名	出前講座の実施				
事業名	ボランティアの活用	担当係	社会教育係		
事業の目的	ボランティアの活用による生涯学習体制の整備。				
事業内容	書道ボランティアや「はつらつ活動拠点事業」のボランティアを学校等に派遣。放課後児童クラブへの派遣も行っている。				
達成状況	書道ボランティアは8校、放課後児童クラブへ5箇所派遣。				
平成20年度 決算額(千円)	0				
事業の課題	派遣分野の拡大を図るため、人材バンクの構築が急務				
評価	C	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

## 豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する意見

平成20年度事業の点検並びに自己評価の内容については、全体的に概ね適性であると思われる。教育活動の継続性からほとんどの事業の継続と充実が望まれるため、CまたはD判定の事業は課題を検討し、効果的な事業の展開となるよう希望する。

また、AまたはB判定及び昨年より評価の上がった事業は、更に工夫を凝らすなどし、より良い事業の推進に努めていただきたい。

個別には、『教育委員会の活動状況』についての記述がなされていないが、定例・臨時教育委員会の開催状況、議案等の審議状況や学校訪問の状況等の報告も必要と思われる。

『学校教育』は事業をもう少し詳細に点検できるよう来年度にむけての課題としていただきたい。

『社会教育』は地域や各団体との連携が図られており、体験活動等更なる事業展開に期待する。

『スポーツ・レクリエーション』は健康志向の高まりのなかで、幅広い年齢層に求められる事業であり今後も着実に推進していただきたい。

『文化財の保護と活用』の史跡整備や文化財の公開については、県の補助金を活用し充実した事業となっている。また、神楽は市内外で大きな盛り上がりを見せしており情報発信の努力が見られる。

『芸術文化の振興』は各種の文化事業が定着し市民の期待に応えるものとなっていると考える。読書活動については、新図書館がまもなく完成するためより一層のサービスの充実を図るよう希望する。

『生涯学習』については今後の生涯学習基本計画の策定に期待したい。

平成22年2月10日

谷崎 勝